説明書 No. SS-MU 1203

Suiden

スポットエアコン　クールスイフアン

ポータブルタイプ　SS-16MU-1

取扱説明書

もくじ　ページ

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読めるところへ、必ず保管してください。

世界のブランド〈Suiden スイデン〉製品をお買上げいただきまして、ありがとうございました。ご使用の前に、この説明書を最後までお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してご活用ください。ご使用中にわからないことや、不具合が生じたときは、必ず本説明書をお読みください。

注記　塩酸や硫酸など、著しく金属を腐食させるガス・蒸気が存在する場所に設置しないでください。
＊ガス漏れや、性能劣化の恐れがあります。

日本国内１００Ｖ電源専用

株式会社スイデン

1 安全のために必ずお守りください

ご使用の前に、この『安全のために必ずお守りください』をよく読み内容を理解してから正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の度合いを明らかにするために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、⚠警告・⚠注意の２つに区分しています。
しかし、⚠注意の欄に記載した内容でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。
いずれも安全に関する重要な内容ですので必ずお守りください。

⚠警告：取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意：取扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、物的損害が発生する可能性があります。

注記：警告・注意以外の情報を示します。

絵表示の例		
	⚠	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図は感電注意）
	⃠	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中や近くに具体的な禁止事項が描いているものもあります。（左図は分解禁止）
	●	●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中に具体的な注意事項が描いているものもあります。（左図はアースする）

●製品仕様への注意事項

⚠ 注 意

決められた製品仕様以外で使用しない。 ＊漏電・感電・火災・水漏れなどの原因になります。	船舶・車両などの空調用としては使用しない。 ＊水漏れ・漏電の原因になります。

●搬入・移動上の注意事項

⚠ 注 意

搬入・移動に際しては、重心・重量を考慮して作業する。 ＊落下･破損などによりケガの原因になります。	人手により運搬や持ち上げる際は、腰だけをかがめず膝も曲げて持ち上げるようにする。 ＊腰を痛める原因になります。
移動・運搬の際は、必ずドレンタンクを空にする。 ＊ドレン水がこぼれると、本体内部に浸水して感電することがあります。	本体を横に倒した状態で、移動・運搬をしない。 ＊内部部品の破損の原因になり、感電や発火の恐れがあります。

●試運転・運転の際の注意事項

⚠ 警 告

濡れた手で、差込みプラグやスイッチ・配線などの電気まわりに触らない。 ＊感電やケガの恐れがあります。	定格１５Ａ以上のコンセントを単独で使用する。 ＊他の器具と併用すると、分岐コンセント部が異常発熱・発火することがあります。

⚠ 警　告

アースを確実に取付け、漏電ブレーカー（別売市販品）を使用する。 ＊故障や漏電のときに感電する恐れがあります。	水・油などをかけない。 ＊火災・感電・漏電の原因になります。
灯油･ガソリン･シンナー･ベンジン･塗料などや、その他引火性のもの、爆発の恐れのあるものの近くで使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。	アルミニウム･マグネシウム･チタン･亜鉛･化学物質などの爆発性粉じん、ガス･蒸気などの近くや雰囲気内で使用しない。 ＊爆発したり、火災の原因になります。
著しく金属を腐食させるガスや蒸気が存在する場所で使用しない。 ＊絶縁不良による感電や発火の原因になります。	電源プラグのほこりなどは、定期的に乾いた布で拭取る。 ＊プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

⚠ 注　意

人体に有害な粉じんが浮遊する場所に置かない。 ＊本機に有害な粉じんが付着すると、運転時に有害粉じんが拡散する恐れがあります。	本体内部の金属部品（アルミフィン）にさわらない。 ＊手を切るなど、ケガをする恐れがあります。
動かなくなったり、異常がある場合は、すぐに電源プラグを抜いて、販売店に必ず点検修理を依頼する。 ＊感電・漏電・ショートなどによる火災の恐れがあります。	冷風を長時間、体にあてない。 ＊健康を害する恐れがあります。 冷風を集中して直接体にあてないようにしてください。
交流100V以外で使用しない。 ＊感電やショートして発火の原因になります	運転可能条件範囲内で使用する。 ＊感電・火災・故障の原因になります。 25℃．50％～45℃．40％の雰囲気内でご使用ください。
運転・停止の操作は、必ずスイッチで行う。 ＊電源プラグの抜き差しによる操作は、感電や火災の原因になります。	
切削油などの鉱物油の立ち込める場所で使用しない。 ＊樹脂部の劣化により、ケガや事故の恐れがあります。	運転時は、キャスターのストッパーをONにして固定する。 ＊予期しないときに動くと、ケガや事故の原因になります。
振動のある場所や傾斜のある場所で使用しない。 ＊転倒などによりケガや事故の原因になります。 振動のない水平な場所で使用してください。	水のかかる場所で使用しない。 ＊絶縁劣化による感電・漏電･火災・故障の原因になります。
導電体（カーボン・鉄・鋳物・アルミなど）の粉じん発生場所で使用しない。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。	浮遊粉じんの多い場所では、必ず定期的に内部を掃除する。 ＊感電や、ショートして発火の原因になります。
火気に近づけない。 ＊本機の変形により、ショートして発火することがあります。	排気口に手や指を入れない。 ＊ケガの恐れがあります。
フィルターを外したままで使用しない。 ＊フィルターを外すと熱交換機が露出し、ケガの原因になります。	台・机の上や、不安定なものの上に置いて使用しない。 ＊本体の転倒や落下により、ケガの原因になります。
本体の上に乗ったり、物を乗せたりしない。 ＊落下･転倒などにより、ケガの恐れがあります。	本体の上に水の入った容器などを乗せない。 ＊水がこぼれて本体内部に侵入すると、感電する恐れがあります。
電源コードやプラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	延長コードを使用するときは、指定の長さ以内で、指定の公称断面積のものを使用する。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。

⚠ 注　意	
電源プラグにピンやゴミを付着させない。 ＊感電やショートして発火することがあります。	電源コードに重量物をのせたり、挟み込まない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
電源コードや延長コードは、巻いたままや寄せ集めた状態で使用しない。 ＊コードが発熱して火災の危険があります。必ず伸ばした状態で使用してください。	電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねない。 ＊電源コードが破損し、火災や感電の原因になります。
使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。 ＊ケガ、やけど、絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らずに、必ず先端の電源プラグを持って引抜く。 ＊感電やショートして発火することがあります。

●保守・点検の際の注意事項

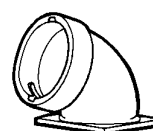
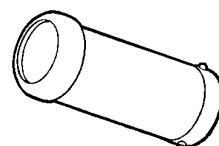
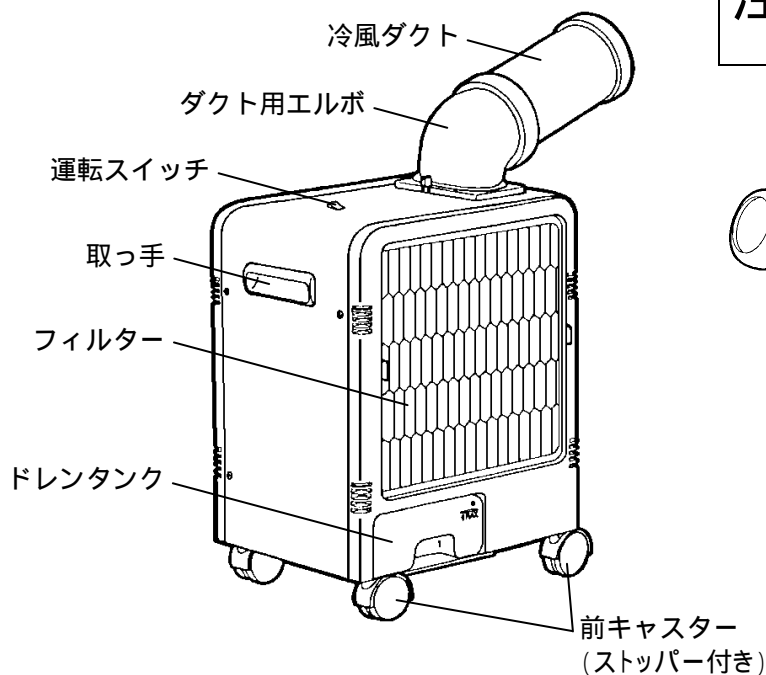
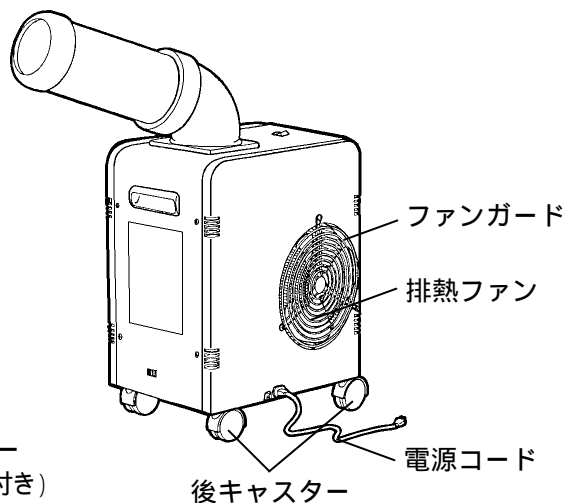
⚠ 注　意	
修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしない。 ＊発火したり異常動作をすることがあります。	お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをする恐れがあります。
保管するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 ＊感電やケガをすることがあります。	

2 仕様と付属品

品番			SS-16MU-1
電源			100V．50／60Hz
冷房能力			1.4／1.6 kW
圧縮機			全密閉型ロータリー．出力0.40kW
送風機	冷風側	風量	4／4 m³/min
		出力	15W
	排熱側	風量	5／7 m³/min
		出力	15W
消費電力			530／610 W
始動電流			22.3／20.5 A
運転電流			6.6／6.3 A
力率			81／97 %
冷媒			HFC-407C
冷媒封入量			220g
外形寸法			幅460×奥行き250×高さ547mm
製品質量			21kg
運転可能条件			25℃(50%)～45℃(40%)
備考			冷房能力、消費電力、運転電流は、周囲温度35℃.相対湿度60%で運転したときの値です。 発電機を電源とするときは、2kVA以上のものをご使用ください。

付属品

①冷風ダクト…………１個
②ダクト用エルボ……１個
③取扱説明書…………１部

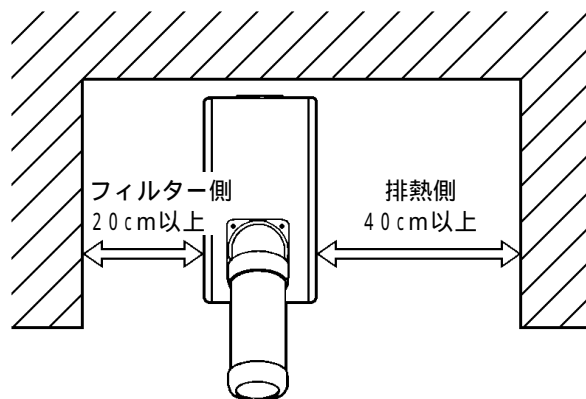
①
②

3 各部の名称

注記 ダクト用エルボと冷風ダクトは、本体ケースの底に梱包しています。（お客様組立て式）

4 準備

安全にご使用いただくために、必ず「1 安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

注記
①排熱ファンの中に、物や棒などを入れないでください。内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
②排気口を塞がないでください。機能を妨げ、故障の原因になります。

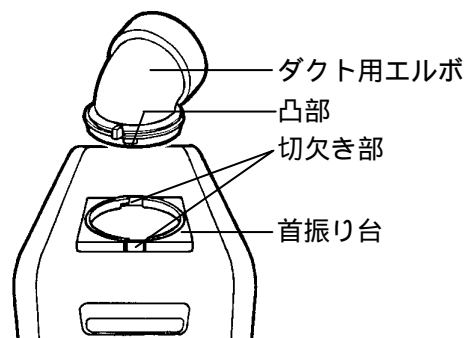
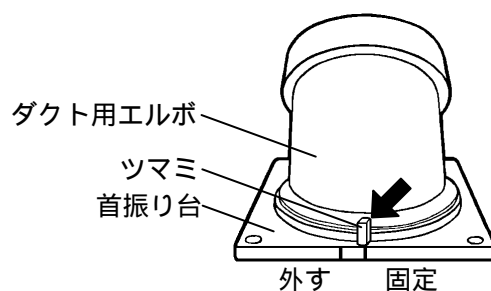
1. 本体の設置

フィルター側および排熱側に障害物のない場所に設置してください。
設置条件は、右図を参照してください。

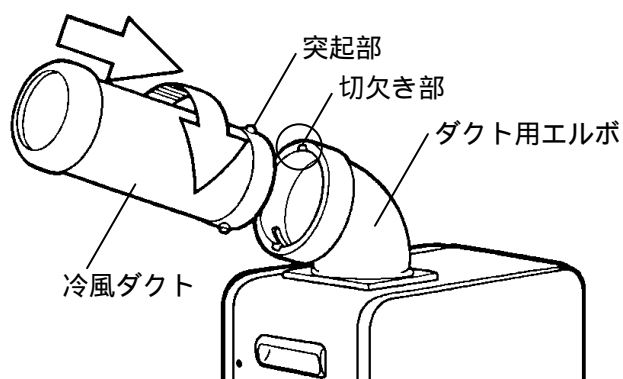
注記 酸性またはアルカリ性など一般の雰囲気と異なる場所に設置しないでください。
＊熱交換機などが腐食する恐れがあります。

2. 冷風ダクトの取付け

(1) ダクト用エルボの取付け

① 首振り台の切欠き部に、ダクト用エルボの凸部を合わせて差込みます。

注記 ダクト用エルボの凸部の位置は、動きます。差込みやすい位置に回して首振り台に差込んでください。

② ダクト用エルボのツマミを首振り台の「固定」の位置に合わせます。

(2) 冷風ダクトの取付け

ダクト用エルボの切欠き部に、冷風ダクトの突起部を合わせて差込み、右側に止まるまで回します。

ダクト用エルボを押して、送風したい向きに冷風ダクトを向けてください。
＊送風範囲は、６ページ「風向き調節」の項をご参照ください。

(3) ダクト用エルボを取外すとき

シーズンオフの収納時などにダクト用エルボを取外す場合は、下記の手順で行ってください。

① 冷風ダクトを取外します。

② ダクト用エルボのツマミを「外す」に合わせて、上方向に抜くと、首振り台から取外せます。

3. 本体と電源の接続

(1) 電気配線

電源は、専用回線(専用電源)からお取りください。

(2) アース工事

静電防止および感電事故防止のため、必ずＤ種接地工事を行ってください。
工事を行うには、資格が必要ですからご注意ください。

(3) 漏電遮断機

漏電ブレーカーは、15A．30mA．0.1sec以下のものを使用してください。

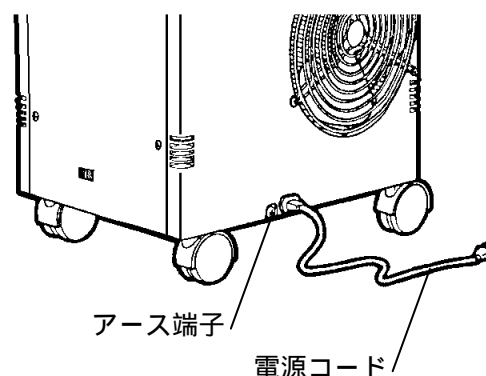
(4) 使用電源電線(延長コード)

電線の長さ	公称断面積
15m以内	2.0mm^2
25m以内	3.5mm^2

注記　アース線は、太さ2.0mm^{2}以上のものをご使用ください。

(5) 本体と電源の接続

① 漏電ブレーカーを設置し、電源コード横のアース端子にアース線を取付けてください。

② 電源プラグを電源に差込みます。

4．試運転

運転スイッチを操作し、機能が異常なく作動するかご確認ください。

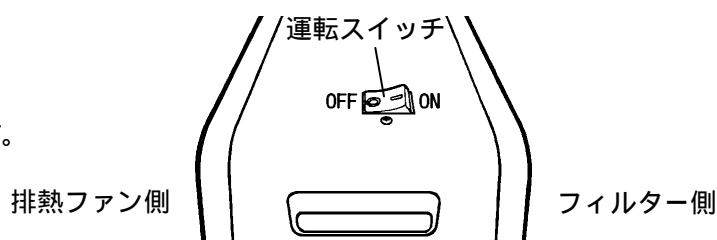
① **運転スイッチの操作方法は、「ご使用方法」の各項目をご参照ください。**

② **異常がある（作動しない）場合は、９ページ「こんなときは」の各項目をご参照ください。**

5 ご使用方法

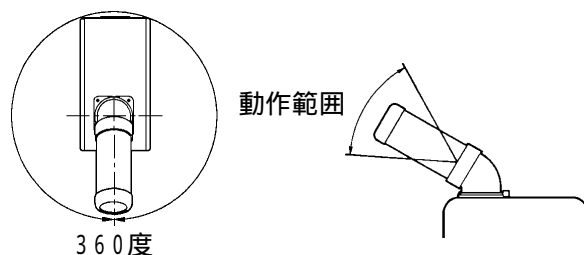
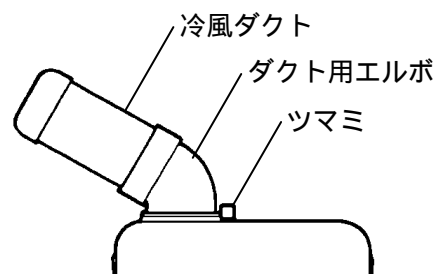
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1．運転スイッチの操作

本体上部の運転スイッチを操作してください。
「Ｉ」……圧縮機が作動し、冷風運転を行います。
「Ｏ」……運転を停止します。

2．風向き調節

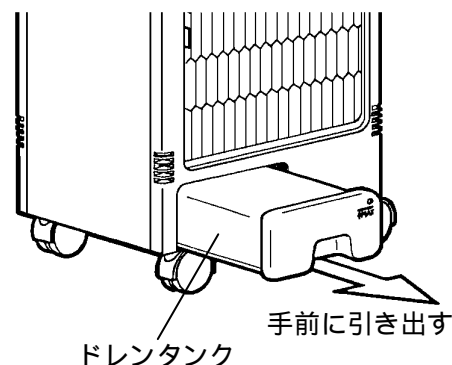
冷風ダクトは動かせますので、調節してご使用ください。

≪水平方向≫３６０度回転しますので、お好みの方向でご使用ください。

≪上下方向≫ダクトはフレキシブル性を持っていますので、動作範囲内でお好みの方向に調節してください。

注記
①上下方向の向きを調節するときは、必ずダクトを伸ばした状態で行ってください。
②冷風ダクトを曲げるときは、エルボ部分に手を添えて、ていねいに曲げてください。
＊無理をすると部分破損の原因になります。
③冷風ダクトの中にものを落としたり、棒などを入れないでください。
＊内部部品を傷めたり、故障の原因になります。
④水平方向の向きを調節するときは、必ずダクト用エルボのツマミを固定した状態で動かしてください。

3．ドレンタンク

（1）除湿した水はドレンタンクに溜まります。

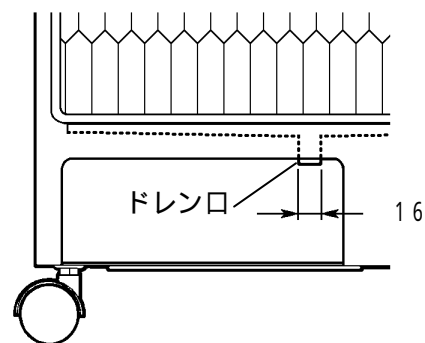
本機は、熱交換器上部の蒸発側で除湿した水を、下部凝縮側で一部蒸発させています。

注記
①除湿水量は、外気温、湿度などや熱交換器の汚れなどで大きく変わります。
特に梅雨時期など湿度の高い時期は、除湿水量が増えますので、ご注意ください。
②除湿水の量は、ドレンタンクで確認してください。
③除湿水は、満水になると床に漏れ出しますので、ドレンタンク内の水量に充分ご注意の上、早めに除湿水を捨ててください。
④スポットエアコンを移動するときは、除湿水が本体内に漏れますので、除湿水を捨ててから移動してください。

（2）除湿水をホースで排水するとき

ドレン口にホースを差込むと、排水溝に直接排水することができます。
ホースは、内径φ16mmのものをご用意ください。

① ドレンタンクを取出します。

② 正面より見てドレンタンク受けの天井部分右にドレン口がありますので、ホースを差込み、ホースバンドなどで固定してください。

③ ②で接続したホースを排水溝などに入れてください。

注記	粉じん、ゴミなどが多い場所で使用すると、ドレン口に粉じんなどが溜まり、本体底部にドレン水が漏れることがあります。定期的にドレン口を点検、掃除してください。

6 保護装置

コンプレッサー用オーバーロードリレー

① 電圧の低下などによる過電流や、モータの異常過熱からコンプレッサーを保護します。

② オーバーロードリレーは自動復帰型です。頻繁にオーバーロードリレーが作動する（運転が停止する）場合は、原因を取除いてください。故障の原因になります。

7 お手入れと保管

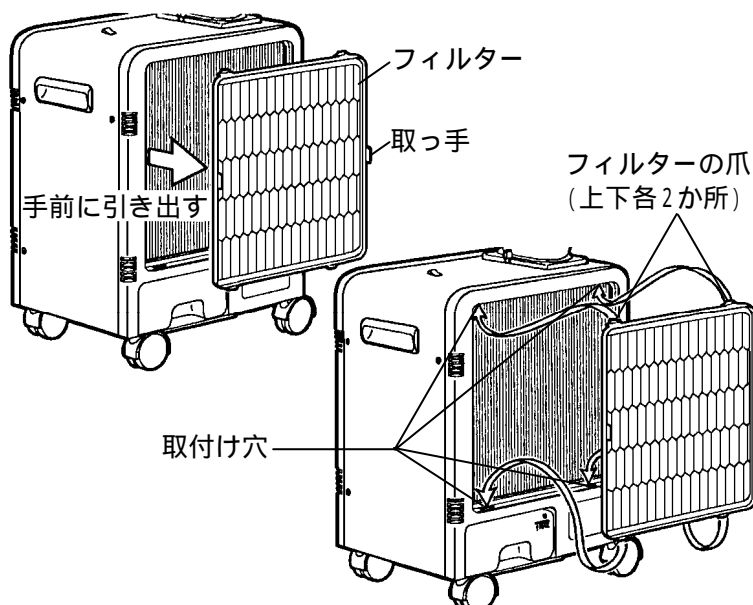
安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

1. フィルターのお掃除

① フィルター両側の取っ手を持ち、手前に引っ張って外してください。

② フィルターのホコリを電気掃除機などで吸取ってください。

③ 汚れがひどいときは、水洗いをし、完全に乾かしてから取付けてください。

④ 再びフィルターを装着するときは、フィルターの爪（上下各２か所）を本体の取付け穴に合わせて差込んでください。
まず、下側の取付け穴にフィルターの爪を差込み、フィルターを少し曲げて上側の取付け穴にフィルターの爪を差込むと、スムーズに装着できます。

2．外装のお手入れ

ダクトや外装の汚れは、乾いた布で拭いてください。汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤をつけた布で拭いた後、乾いた布で再度拭いてください。

注記	シンナー・ベンジン・薬品・みがき粉などをご使用になると、塗装面を傷めたり、故障の原因になりますのでご注意ください。

3．シーズンが終わったら

① フィルターの掃除、本体外装のお手入れをしてください。
② ドレンタンク内の水を捨てて、中を乾燥させてください。
③ ホコリがたまらないように適当なカバーをかけてください。
④ 部品をなくさないように、保管してください。
⑤ 電源コードや延長コードも汚れを落とし、保管してください。

＊熱交換器、シロッコファンなどの内部清掃は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室にご相談ください。
シーズンオフに内部清掃と点検を行うと、来シーズンすぐにご使用いただけます。（清掃・点検は有料です）

注記	本機を横倒しで保管しないでください。 ＊再始動のとき、コンプレッサーなどの故障の原因になります。

8 安全のための点検のお願い

安全にご使用いただくために、下記の点検項目に従って、定期的に保守点検をしてください。
点検で不具合が見つかったときは、速やかに処置を施してください。
※分解修理が必要なときは、必ず修理技術者が行ってください。修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしないでください。

点検項目	処　　置
電源（延長）コードは、傷んだり変形していませんか？	修理技術者にご依頼ください。
差込みプラグは、変形やガタがありませんか？	
電源コードと電源部は、正しく接続していますか？	
電源コードと延長コードの接続部は、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
電源（延長コード）と差込みプラグは、正しく接続していますか？	正しく接続してください。
ダクトは変形したり、破れていませんか？	ダクトを交換してください。
フィルターに、ホコリやゴミが詰まっていませんか？	フィルターを掃除してください。
フィルターは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
フィルターは、破れていませんか？	フィルターを交換してください。
熱交換器のフィンは、つぶれていませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
熱交換器のフィンに、ホコリや油汚れが付着していませんか？	
フィルター部や冷気吹出口を障害物でふさいでいませんか？	障害物を取除いてください。
ドレンタンクは、正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
ドレンタンクは、破損していませんか？	ドレンタンクを交換してください。
キャスターは、磨耗していませんか？	キャスターの交換が必要です。
キャスターのストッパーは、正常に働きますか？	
スイッチは、正しく機能しますか？	9ページ「こんなときは」を参考に調べていただき、直らない場合は、販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。
異音・異臭はありませんか？	販売店または、スイデンお客様相談室に点検・修理をご依頼ください。

9 こんなときは（故障かな？と思ったら）

安全にご使用いただくために、必ず「1安全のために必ずお守りください」の項を先にお読みください。

故障かな？と思ったときは、まず下記項目をご確認ください。
※修理技術者以外の人は、分解したり、修理や改造を絶対にしないでください。

ご 確 認 く だ さ い		
症　状	調 べ る と こ ろ	直　し　方
運転しない	電源が供給されていますか？（停電など）	通電されるまで運転スイッチを「O」の位置にして待ってください。 「I」の位置のまま通電すると、ヒューズやブレーカーが切れるときがあります。
	電源プラグをコンセントに差込んでいますか？	電源プラグをコンセントに差込んでください。
	電源コードが断線していませんか？	修理技術者にご依頼ください。
	電源ブレーカーが落ちていませんか？	電気の専門家がおられない場合は、販売店へご相談ください。
	オーバーロードリレーが作動していませんか？	自動復帰型です。 復帰するのを待ち、運転スイッチを「O」に戻して、3分以上時間をおいてから再運転してください。
ブレーカーが落ちる	ブレーカーの容量は充分にありますか？	ブレーカーは本機専用とし、分岐回路も本機専用にしてください。
	電源電圧が低くなっていませんか？	電力会社にご相談ください。
送風・冷風運転を繰り返す	周囲の環境が運転可能条件より低くなっていませんか？	運転を停止して、周囲の環境が運転可能条件になるまで待ってください。
冷えない	フィルターや、冷気吹出口がふさがれていませんか？	障害物を取除いてください。
	フィルターがホコリやゴミで目詰まりしていませんか？	フィルターを掃除してください。
冷えがにぶい	周囲温度が高すぎませんか？ （４５℃を超える温度）	風通しを良くするなど、連続運転可能範囲内（25℃～45℃）でご使用ください。
機外へ水が漏れる 運転中に本体後部から水が漏れる	ドレン口が詰まっていませんか？	ドレン口を掃除してください。
	ドレンタンクが満水になっていませんか？	ドレンタンク内の水を捨ててください。
	ドレンタンクを正しくセットしていますか？	正しくセットしてください。
	ドレンタンクが破損していませんか？	補修するか、新品に交換してください。

■上記処置をしても直らない場合は、販売店またはスイデン・サービスショップ、スイデンお客様相談室へご相談ください。

10 経年劣化に係る安全上の表示について

【本製品の設計標準期間について】

本製品は、設計標準使用期間を10年と算出しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

＊標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で使用した場合に、安全上支障がなく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間です。
従って、メーカー無償保証期間とは異なるものですので、ご注意ください。

＜設計標準使用期間の算定の根拠＞

本製品の設計標準使用期間は、製造年を始期とし、㈳日本冷凍空調工業会自主基準に基づき、以下の使用条件を想定して、当社において耐久試験等を行った結果算出された数値等に基づき、経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないことを確認した時期を終期として設定しています。

●設計標準使用期間を設定するための標準使用条件

種類	スポットエアコン	
型番	SS-16MU-1	
環境条件	電源電圧	100V
	周波数	50/60Hz
	冷房室外温度	35℃（乾球温度）
	冷房室外湿度	40%（湿球温度24℃）
	設置条件	標準設置
想定時間	1年間の使用日数	東京モデル　6月2日から9月21日までの112日間
	1日の使用時間	9時間/日
	1年間の使用時数	1008時間/年
●環境条件の冷房室外温度、冷房室外湿度は、JIS　C9612の試験状態を参考にしています。 ●想定時間の1年間の使用日数は、JIS　C9612の付属書3（ルームエアコンディショナの期間エネルギー消費効率算定のための試験および算出方法）を参考としています。		

＜ご注意ください＞

- **本製品を上記の標準的な使用条件を超える使用頻度や異なる使用環境などでご使用された場合は、設計標準使用期間よりも早期に安全上支障を生じるおそれが高くなることが予想されますので、製品に表示している点検期間よりも早期に点検を受けることをおすすめします。**
- **製品を目的外の用途で使用したり、業務用に使用されるなど、上記の標準使用条件と異なる環境でご使用された場合も設計標準使用時間の到来前に経年劣化等による重大事故発生の恐れが高まることが予想されます。**

11 アフターサービスと保証について

⚠ 注　意

当社製品の補修・修理には、当社純正部品を使用する。
＊当社純正部品以外を補修部品として使用すると、特性が合わず、故障や事故の原因になります。
＊当社純正部品以外を使用した場合のクレームおよび修理のご依頼などは、お受けできないばかりでなく、すべての保証の対象から外れる場合があります。
＊他メーカー製品に当社部品を使用した場合も同様とします。

●修理について

補修用パーツの発注および修理などのお問い合わせは、品番、製造番号、ご購入日をご確認のうえ、お買い上げの販売店、または最寄りの当社支店・営業所にお申し付けください。なお、スイデン製品は、家電製品に準じた保有期間を独自設定しています。標準部品としての補修用パーツの保有期間は、製造打ち切り後９年です。

●保証について

この製品の保証期間は納入日より１年間とし、次の場合に限り無償修理の対象となります。

無償保証	取扱説明書に沿った保守点検を実施したにもかかわらず、保証期間内に当社の設計・組立の不備により、故障または破損が発生した場合。 ただし、故障または破損に起因する種々の出費およびその他の損害に関する保証はいたしかねます。 また、無償修理時、故障原因に関係なく消耗し、交換が必要だと判断した部品については、有償とさせていただきます。

⚠ 安全に関するご注意

●本製品を、食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途については、確認のうえ使用してください。品質低下などの原因になることがあります。
●本体には、据え付けおよび電気工事などが必要な場合があります。　お買い上げ販売店または専門業者にご相談ください。工事に不備があると、感電や火災・事故の原因になることがあります。

愛情点検

★長年ご使用のスポットエアコンの点検を！

このような症状はありませんか？	●スイッチを入れても時々運転しないことがある。 ●運転中に異常な音や振動がある。 ●本体が変形していたり、異常に熱い。 ●焦げ臭い“におい”がする。 ●その他の異常がある。	▶	お願い 異常があればご使用を即、中止!!	このような症状のときは、故障や事故防止のため、スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

アフターサービスのお申し込みについて

アフターサービス・修理のお申し込みは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へお申し込みください。

●お買い上げ販売店のメモ欄

店　名	お買い上げ年月日 年　　月　　日
所在地	TEL FAX

≪製品の廃棄について≫　本機を廃棄するときは、分解し、分別処理して廃棄物処理場に出してください。

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室　フリーダイヤル 0120-285-240
FAXでのお問い合わせは (0745) 33-3618
Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社スイデン　奈良県生駒郡三郷町夕陽ケ丘3-26　ホームページ http://www.suiden.com